



－ 入 会 の ご 案 内 －

設立趣旨

最近の情報処理及び情報通信の技術革新により社会の様々な分野で情報化が急速に進展し、社会経済活動や行政サービスの在り方、さらには個人のライフスタイルなどに大きな変革をもたらしてきています。とりわけ、情報ネットワークシステムの進展は、空間と時間を超えて地域と地域、企業と企業、人と人、さらにはこれらの相互の結びつきを促進し、新しい社会経済システムやコミュニティを形成しています。こうした高度情報化の潮流の中で、活力ある自立したより豊かなみやぎの地域社会を形成していくためには、情報化への積極的な取り組みが求められています。

宮城県では、平成11年3月に「県民一人ひとりの夢がかなえられていく情報環境の実現」を理念とした「高度情報通信県みやぎ推進計画」を策定し、各種情報化施策を展開する上で、産・学・官・民が、調査研究活動、会員相互の情報交換、普及・啓発活動などを通じて、合意形成を図りながら、情報通信基盤の整備や情報システムの構築、さらには人材の育成など、宮城県全体の高度情報化を一体となって推進していくことを目的として、県、市町村、各種団体、企業、学術研究機関、NPO等が連携・協力し、「宮城県高度情報化推進協議会」を設立しました。

現在、県では、「みやぎICT利活用推進プラン」に掲げた各種の取組を推進しながら、みやぎの高度情報化を目指しています。



総会での審議



幹事会での意見交換

組織図



総 会：産・学・官・民の計 127 会員で構成（H29.6 現在）
 会長、副会長、監事：名簿参照
 幹事会：名簿参照
 顧 問：名簿参照
 部 会：必要に応じて設置
 事務局：宮城県震災復興・企画部情報政策課

事業内容

県全体の高度情報化を推進し、東日本大震災からの復興や地方創生に向けた地域の活性化に寄与するために、以下の事業を実施しています。

1) 情報提供・情報交流事業

会員が地域情報化の事業に取り組めるように、情報提供と意見交換の場を設けています。

① 情報提供事業

電子メール及びホームページを活用して会員に関する情報や会員から寄せられたセミナーの開催情報等を迅速に提供していくとともに、各種セミナー・勉強会や普及啓発事業の成果を積極的に広報しています。

② 情報交流事業

会員が情報化を進めるうえでの課題・問題点の解決のためのセミナーや勉強会、情報交換会等を開催しています。

会員が地域情報化の企画立案・実施する際に、必要な情報が得られるよう会員相互の情報交換を図っています。



講演会の様子



最近の講演会、セミナーのテーマ

【H29】

- ・講演会「AIがもたらす新しい社会」

【H28】

- ・講演会「IoTと日本を取りまく現状」
- ・セミナー「オープンデータの有効性・将来性～オープンデータ利活用を通じて～」
- ・セミナー「位置情報とは何か。その概要と社会への広がり」
「位置情報サービスの最新動向」

【H27】

- ・講演会「AR・VR活用による未来像～ICTを活用した宮城のまちづくり・地方創生を目指して～」
- ・セミナー「内部不正からセキュリティを考える～インシデント発生源の6割は内部から～」
「クラウドファンディングについて学ぼう」

【H26】

- ・講演会「IT+Cでつなぐ復興の力」
- ・セミナー「オープンデータ最新事情」

2) ICT化推進事業

会員による高度情報化の取り組みに対して支援を行っています。震災からの復興に向けた地域の活性化に直接寄与する事業については、重点的に支援します。

2-1 復興チャレンジ事業

会員自らのテーマ設定による、津波浸水地域の復興や仮設住宅等の住民活動の活性化への取り組み等、ICTを利活用した課題解決型事業に対して支援を行います。特に、産・学・官・民で構成する協議会会員相互の連携・協力による取り組みを促進します。



2-2 普及・創出事業

ICTを活用した豊かな暮らしの実現に向け、社会の様々な分野に普及しているICT・情報リテラシー・ICT活用シーン等が広く県民に理解され、日常生活への浸透が促進されるようセミナー等の開催に対する支援を行っています。また、ICT関連技術を習得し、地域復興、地域活性化に係る活動に活用したいと願う青少年、中高年、高齢者等幅広い県民各層の方々に対し、それを学ぶ機会を提供するため会員等が実施する事業に支援を行っています。学んだ方々が地域社会においてその習得技術を生かし活動していただくことで、本県の地域情報化を推進していくことを目的としています。

- ① ICTをテーマとした講演会、出張講座、フェアへの出展、セミナー、シンポジウムの開催事業へ支援を行っています。
- ② 地域の情報化を担うICTクリエイター（デジタル技術を使用して創造的なコンテンツを作成し、その発信を行う者）の養成を目指した事業に対して支援を行っています。
- ③ シニアICTサポーター（ICTスキルを有するシニア世代で地域においてICT活用の機会を提供するための普及活動を行う者）、情報セキュリティサポーター（情報セキュリティの対処方法やノウハウを有し、地域で情報セキュリティの普及活動を行う者）の養成事業などその成果が地域社会に還元されることを目指した事業に支援を行っています。

2-3 ICTワークショップ事業

地域における課題解決能力の向上を目的に、ICTを活用したアイデアソン、ハッカソン等のワークショップを行う事業に対して支援を行います。

この事業は、県内の高等学校、専門学校、大学等の教育機関が人材育成を目的とし、かつ、収益性がない場合に限り、非会員であっても助成の対象とします。

問合せ・参加申込

入会ご希望の方は、「参加申込書」により事務局までお申し込み願います。

用紙ダウンロード → <http://www.miyagi-ipa.jp/nyuukai.html>

年会費（一般会員は、現在1口7,000円から）については別途御案内します。

宮城県高度情報化推進協議会事務局（宮城県震災復興・企画部情報政策課内）

〒980-8570（宮城県庁専用）仙台市青葉区本町3丁目8番1号

電話：022-211-2471（直） FAX：022-211-2495 E-mail：mipa@pref.miyagi.lg.jp

協議会ホームページ <http://www.miyagi-ipa.jp/>

役員等名簿（平成29年6月9日現在 敬称略）

役員

役職名	所 属 ・ 職	氏 名
会 長	宮城県震災復興・企画部長	伊 東 昭 代
副会長	宮城大学事業構想学部教授	富 樫 敦
	一般社団法人宮城県情報サービス産業協会会長	早 坂 栄 二
監 事	株式会社七十七銀行取締役システム部長	菅 原 亨
	宮城県出納局次長	蜂 谷 洋

幹事

役職名	所 属 ・ 職	氏 名
幹事長	宮城県震災復興・企画部理事兼次長	江 口 哲 郎
副幹事長	宮城県市長会事務局長	加 藤 俊 憲
	宮城県町村会事務局長	佐々木 昭 男
	宮城県商工会議所連合会仙台商工会議所中小企業支援部長	佐々木 裕 志
幹 事	株式会社河北新報社デジタル推進室部次長	岡 村 伸 也
	東北電力株式会社情報通信部副部長	佐 藤 昌 志
	東日本電信電話株式会社宮城事業部企画部長	金 村 真
	日本放送協会仙台放送局広報・事業部長	西 條 孝 明
	みやぎ生活協同組合機関運営部長	倉 田 秀 明
	公益社団法人宮城県医師会常任理事	登 米 裕 也
	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会総務課長	櫻 井 幸 久
	宮城県商工会連合会経営支援部長	郷 古 正 則
	一般社団法人宮城県情報サービス産業協会常務理事・事務局長	穴 沢 芳 郎
	宮城県中小企業団体中央会事務局長兼連携推進部長	高 橋 伸
	宮城県農業協同組合中央会経営企画部長	残 間 久 幸
東北電子専門学校校長	吉 田 博 志	

顧問

所 属 ・ 職	氏 名
宮城県知事	村 井 嘉 浩
宮城県市長会会長	奥 山 恵美子
宮城県町村会会長	村 上 英 人
宮城県商工会議所連合会会長	鎌 田 宏